

YAMAHA

Clavinova®

CLP-550/CLP-350

取扱説明書

このたびは、ヤマハ・クラビノーバをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

クラビノーバは、楽器づくりの経験豊かなヤマハが、伝統に培われた感性と先進のエレクトロニクス技術を結集して完成させた、画期的な鍵盤楽器です。

ピアノの原理を応用した

小気味良いタッチ感覚のAE鍵盤をはじめ、

音色にはリアルで高品位なAWM音源、

洗練された様々な機能の採用により、

クラビノーバならではの

豊かな演奏感を体感していただけます。

さらには、デジタル楽器の

統一規格・MIDI端子に加え、

拡張用の接続端子も装備しており、

演奏表現の可能性がいろいろ広がります。

本書では、クラビノーバの魅力

いつまでもお楽しみいただけますよう、

正しい取り扱い方法を説明しています。

ぜひご一読ください。



もくじ

ご使用の前に	1
クラビノーバの組み立てかた	1
各部の名称とはたらき	3
オプション(別売品)のご紹介	4
さあ/弾いてみましょう	5
いろいろな効果や機能を活用しましょう	6
ペダル効果	6
ブリリアンス機能	6
リバーブ効果	6
サステイン効果	6
トランスポーズ機能	7
ピッチコントロール機能	8
練習曲 I (きらきら星)	9
楽譜の読みかた	10
弾き語り講座	11
練習曲 II (赤いスイートピー)	13
MIDIで楽しみましょう	15
仕様	19
EMシリーズでさらに楽しさを広げましょう	20
MIDIインプリメンテーションチャート	22

ご使用の前に

設置場所



次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

お取り扱い



落としたり、物をぶつけたり、上に物を置くなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

電源の処置



ご使用後は電源スイッチを切ってください。

外装のお手入れ



お手入れは、乾いた布でカラぶきするか、汚れのひどい時は少し水で濡らせた布でふいてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、ビニール製品を上に乗らないでください。

他の電気機器への影響



ラジオやテレビの近くで使用しますと、ラジオやテレビに雑音が発生したり、誤動作することがあります。十分に離して使用してください。

保証書の手続き



お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをとってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも修理の費用をいただくこととなりますので、充分ご注意ください。

保管

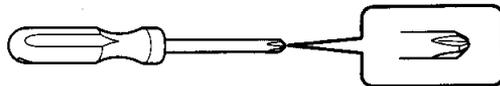


この取扱説明書をお読みにになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

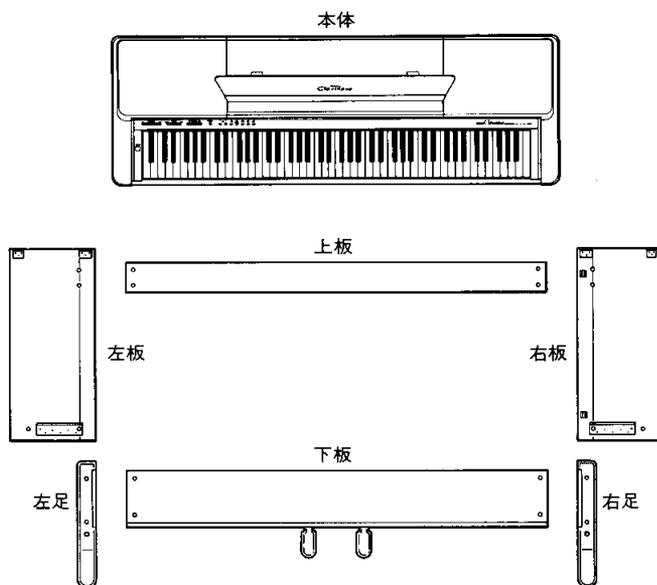
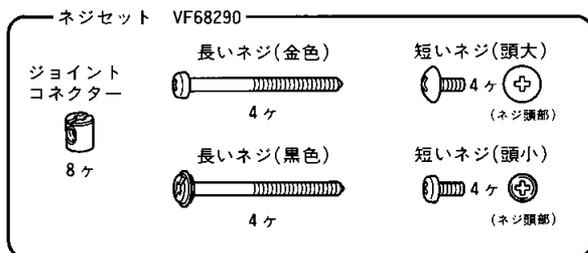
クラビノーバの組み立てかた

部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。

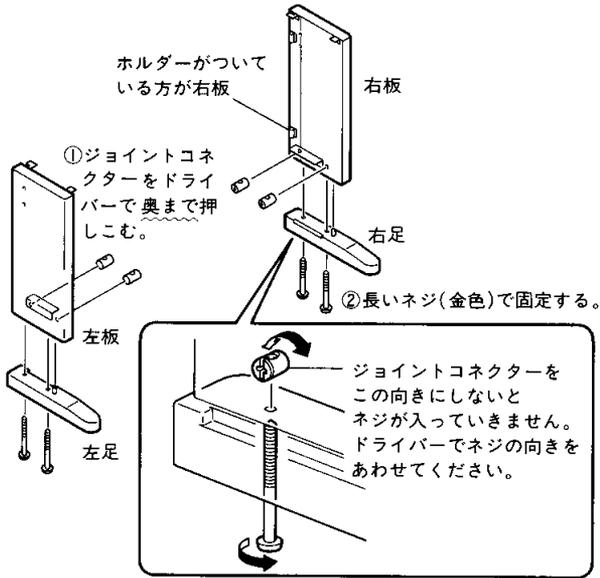
1.+(プラス)のドライバーを用意します。



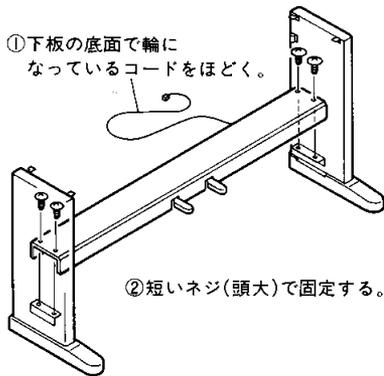
2.箱を開けて部品を取り出します。そして部品がすべてそろっているか確かめてください。



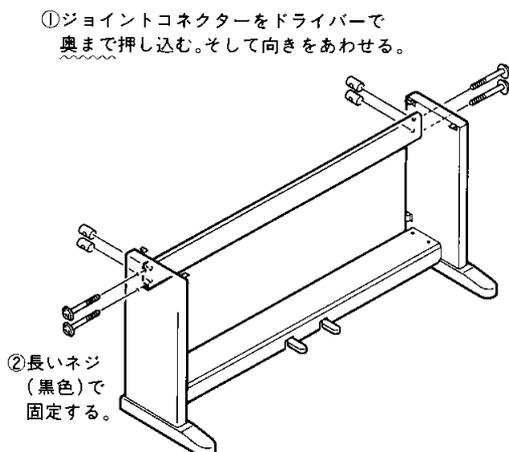
3. 右板と右足、左板と左足を固定します。



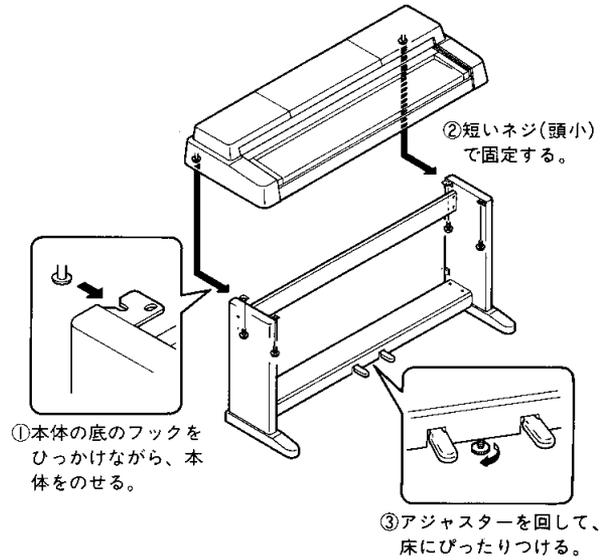
4. 下板を固定します。



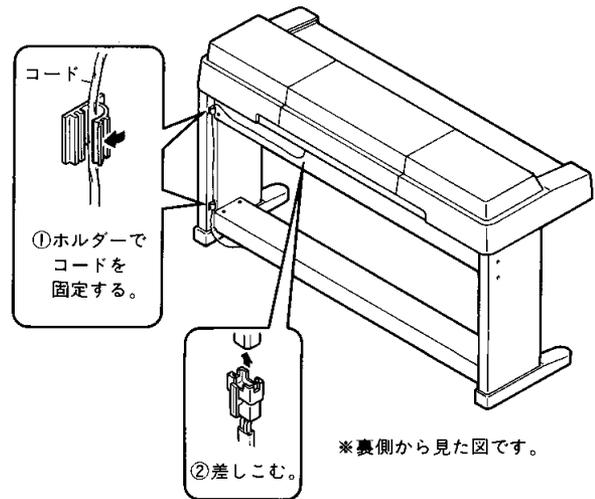
5. 上板を固定します。



6. 本体をのせる。

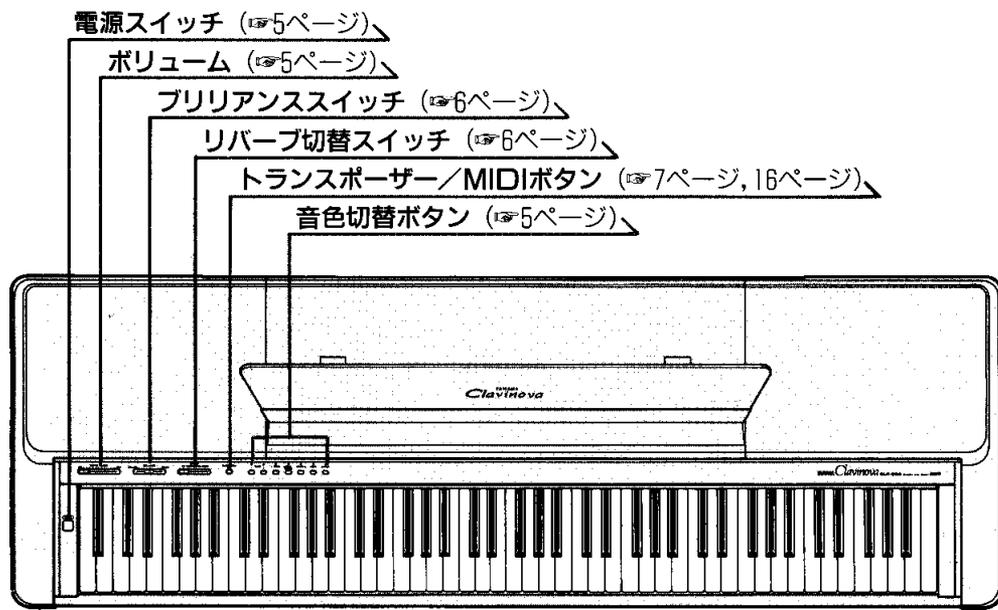


7. コードを接続する。



各部の 名称とはたらき

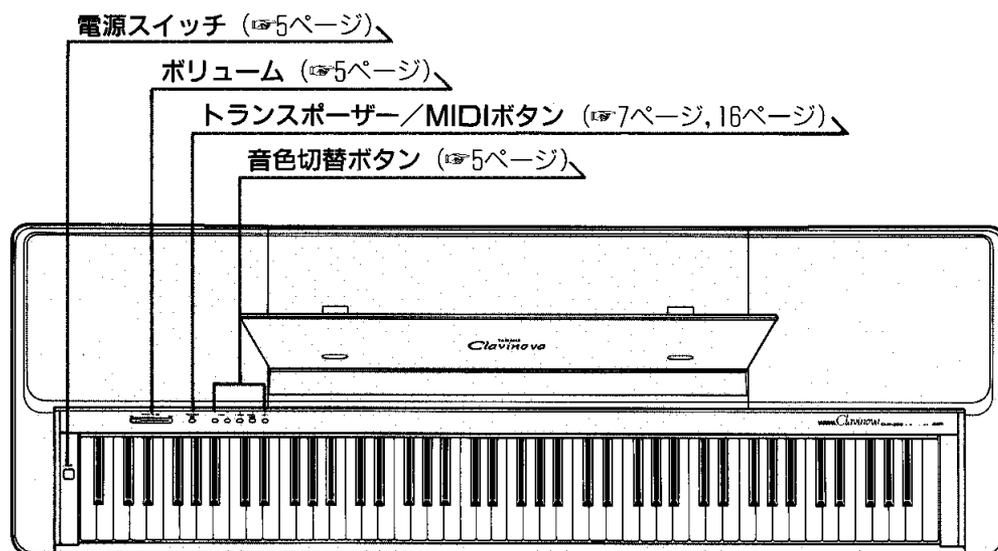
CLP-550



ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを使うと、クラピノーバのスピーカーからは音が出なくなりますから、夜間でも周りに迷惑をかけることはありません。

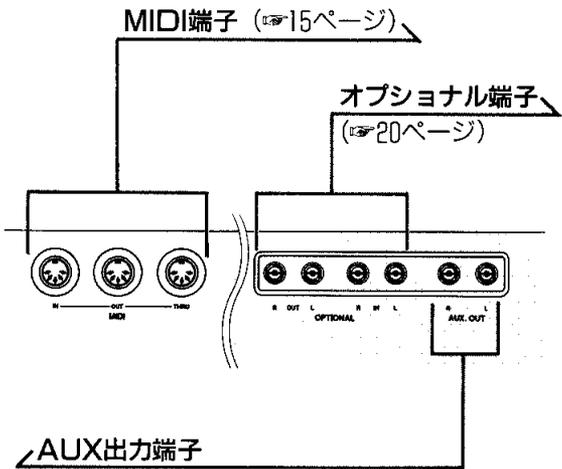
CLP-350



ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを使うと、クラピノーバのスピーカーからは音が出なくなりますから、夜間でも周りに迷惑をかけることはありません。

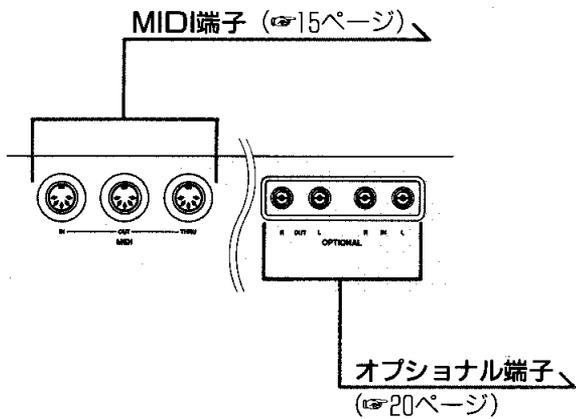
マークのところにくわしく説明してあります。



AUX出力端子

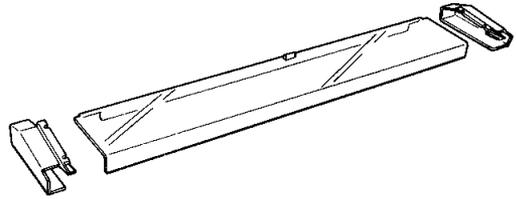
ステレオなどに接続して、より大きな音を出したり、演奏を録音することができます。ステレオに接続した時はクラビノーバのボリュームは8分目にして、ステレオのボリュームで音量を調節してください。

マークのところにくわしく説明してあります。



オプション(別売品)のご紹介

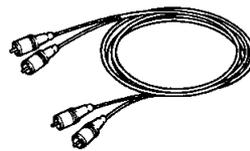
収納具付キーカバー・KC-881(CLP-350用)
¥5,000



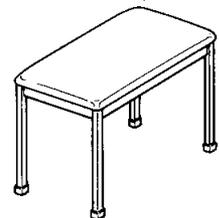
ヘッドホン・HPE-5
¥5,500



オーディオ接続コード・PSC-3
¥1,000



イス・BC-7
¥8,000



クラビノーバ用曲集

クラビノーバ・ファン・シリーズ

使いやすいっぱいの初心者向けの曲集です。

- ・クラビノーバ・ファン Vol.1 ¥1,000
- ・クラビノーバ・ファン Vol.2 ¥1,000
- ・クラビノーバファン・スペシャル ディズニー名曲集 ¥1,200
- ・クラビノーバファン・スペシャル クリスマス名曲集 ¥1,000

入門書/独習書

- ・クラビノーバによるバイエル伴奏集 ¥1,300
レッスンから発表会まで、幅広くご活用ください。

キーボードサラダ

最新のヒット曲やスタンダードなどを、やさしくアレンジした曲集です。

—隔月刊偶数月20日発売— 各¥580

さあ！ 弾いてみましょう。

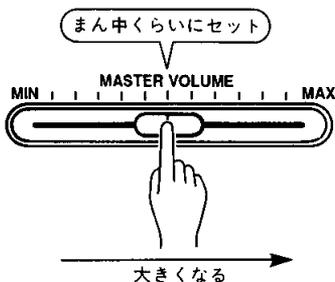
1. 電源プラグを家庭用コンセント(AC100V)に差し込みます。

2. 電源スイッチをオンにします。



- ★電源スイッチをオンにした時は、いつもピアノ1の音色が選ばれています。
- ★電源スイッチを押して約3秒くらいしてから、音を出せます。
- ★電源スイッチをもう一度押すと、電源が切れます。

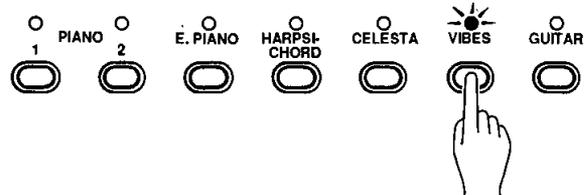
3. 音量を調整します。



- ★鍵盤を押して音を出しながら、ボリュームで調整してください。

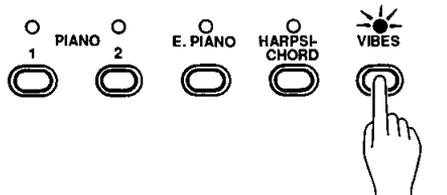
4. 音色を選んでください。

CLP-550



選んだ音色の
ランプが点灯

CLP-350



選んだ音色の
ランプが点灯

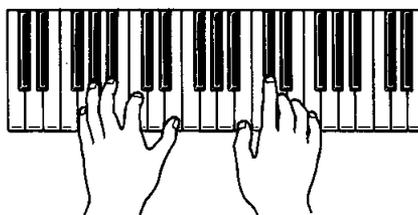
★2つ以上の音色を同時に選んで、いっしょに鳴らすことはできません。

ただし、EMT-10やEMT-1を使えば、それを楽しむことができます。(21ページ)

★各音色はこんなイメージです。

- ・ピアノ1： } 異なった2種類のコンサートグランド
- ・ピアノ2： } ドピアノの音が選ばれます。
- ・エレクトリックピアノ：明るい電気ピアノの音
- ・ハーブシコード：ハーブシコード（バロック感覚の楽器）の音
- ・チェレスタ(CLP-550のみ)：チェレスタ（鋼鉄板をたたいて音を出す楽器）の音
- ・バイブス：ビブラフォン（金属的な独特の響きのする楽器）の音
- ・ギター(CLP-550のみ)：明るいギターの音

5. 弾いてみましょう。



いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

★同時発音数は16音です。(16音ポリフォニック)

※クラピノーバにはペダル効果やトランスポーズ機能、ピッチコントロール機能など様々な機能がありますが、それらは後で順に紹介していきます。

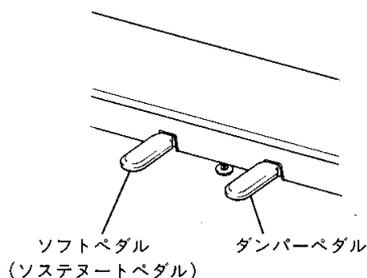
音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を開めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境をまもりましょう。

いろいろな効果や 機能を活用しましょう。

ペダル効果

スタンド部分には2つのペダルがついており、それぞれに役割があります。なお、左側のソフトペダルは希望に応じて切り替え、ソステヌートペダルとして使用することもできます。



ソフトペダルを踏むと……

音の響きがやわらかくなります(ソフト効果)。つまり、ピアノのソフトペダルを踏んだ時と似た効果がかかります。

ダンパーペダルを踏むと……

音に余韻がついて響きが豊かになります(ダンパー効果)。つまり、ピアノのダンパーペダルを踏んだ時と似た効果がかかります。

ソフトペダルをソステヌートペダルに切り替えたうえで踏むと……

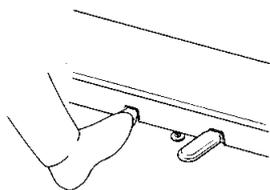
ペダルを踏んだ時に押えていた鍵盤の音だけに余韻がつきます(ソステヌート効果)。

ソフト/ソステヌート切替方法

1. トランスポーザー/MIDI ボタンを押しながら、



2. ソフトペダルを踏みます。

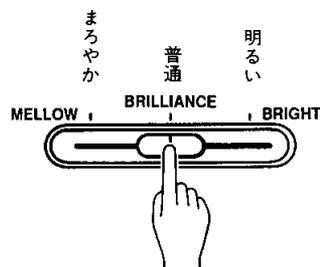


※もう一度踏むと、ソフト効果に戻ります。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもソフト効果が選択されています。

ブリリアンス機能 (CLP-550のみの機能です。)

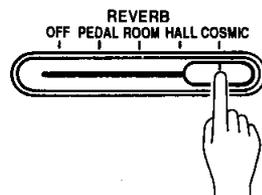
CLP-550は、音の明るさ(音質)を3種類の中から選択できます。



ブリリアンススイッチを、希望する音の明るさのところに切り替えてください。

リバーブ効果 (CLP-550のみの効果です。)

CLP-550は、リバーブをかけることができます。リバーブをかけると、音の響きが豊かになります。



リバーブ切替スイッチを、希望する響きのところに切り替えてください。

★切り替えによって次のようになります。

- ・オフ：リバーブはかかりません。
- ・ペダル：ダンパーペダル(右側のペダル)を踏んだ時だけ、穏やかな響きが得られます。
- ・ルーム：響きやすい部屋の中で弾いた時のような音になります。
- ・ホール：コンサートホールで弾いた時のような音になります。
- ・コズミック：こだまのような響きが得られます。

サスティン効果 (CLP-350のみの効果です。)

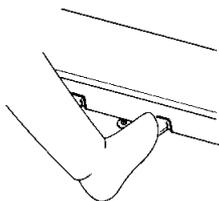
CLP-350は、サスティンをかけることができます。サスティンをかけると、音の響きが豊かになります。

サスティンオン/オフの切替方法

1. トランスポーザー/MIDI ボタンを押しながら、



2.ダンパーペダルを踏みます。



※もう一度踏むと、サスティンオフに戻ります。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもサスティンオフになっています。

トランスポーズ機能

押さえる鍵盤(運指)を変えずに、歌う人の声の高さにキーを合わせることができます。(つまり、弾く高さで発音される音の高さをずらすことができます。)

★±6半音の範囲でずらすことができます。つまり“ド”の音なら高い方に最大で“ファの#”(半オクターブ)まで、低い方も最大で“ファの#”(半オクターブ)までずらすことができます。

たとえば+5半音ずらすと



のように弾いたものが



のように鳴ります。

■移調量の設定方法

1.トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、

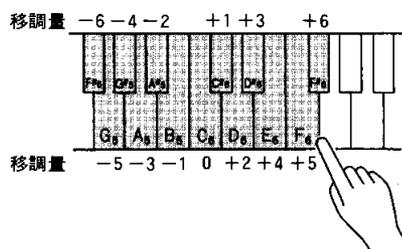


2.“トランスポーズ量指定用鍵盤”で移調量を指定します。



トランスポーズ量指定用鍵盤 (F#₅~F#₆)

たとえば“ド”の音を“ファ”の音に変えたい時は、C₆よりも5半音高い鍵盤、つまりF₆の鍵盤を押します。



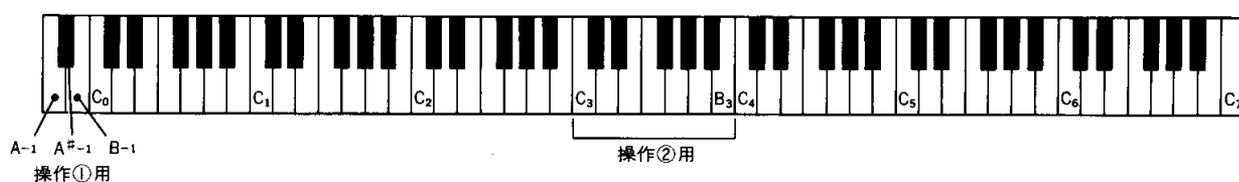
★電源スイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。

★この機能は、合奏などで弾き方を変えずに他の楽器とキーを合わせる時にも便利です。

ピッチコントロール機能

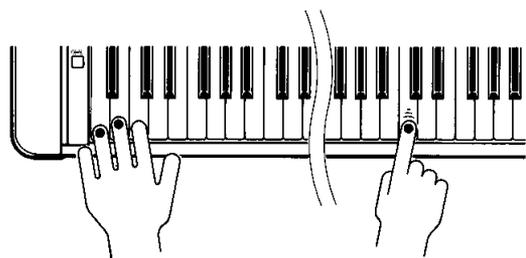
合奏の時などに、他の楽器と正確に音程を合わせることができます。つまり微妙に音程が異なる場合は、この機能を使って他の楽器と音の高さを合わせます。

■音程の合わせ方



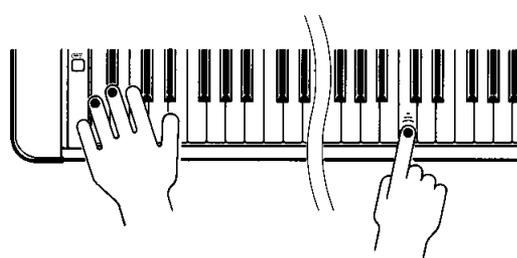
◆音程を上げる時

- ①上の図に示したA-1とB-1の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C₃~B₃のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が上がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を上げて、合わせてください。



◆音程を下げる時

- ①上の図に示したA-1とA#-1の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C₃~B₃のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が下がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を下げて、合わせてください。



★電源スイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。(A₃=440Hz)

★元の高さ(A₃=440Hz)に戻す時は電源を入れなおすか、またはA-1、A#-1、B-1の3鍵盤を同時に押しながら、C₃~B₃のいずれかの鍵盤を押してください。

★±50セントの範囲、約3セントステップで設定できます。(参考：100セント=半音)



練習曲 I

きらきら星

Twinkle little Star

フランス民謡

Moderato

きらきら ひかる おそらの ほしよ

mp

まばたき しては みんなを みてる

mf

きらきら ひかる おそらの ほしよ

mp

みんなの うたが とどくと いいな

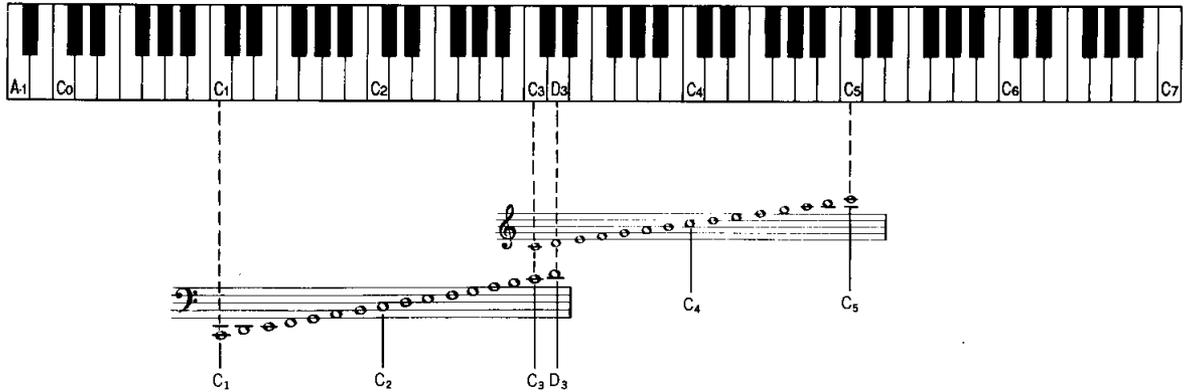
mf

きらきら ひかる おそらの ほしよ



楽譜の読みかた

■鍵盤と五線譜の関係



■音符と休符の長さ

音符		休符	
音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ	休符の種類と名称	4分休符と比較した長さ
○ 全音符	4つ分のばす	— 全休符	4つ分休む
◡ 付点2分音符	3つ分のばす	— 付点2分休符	3つ分休む
◡ 2分音符	2つ分のばす	— 2分休符	2つ分休む
◡ 4分音符		♪ 4分休符	
◡ 8分音符	◡(◡◡)=◡ 半分にする	♪ 8分休符	♪(♪♪=♪) 半分休む
◡ 16分音符	◡(◡◡◡◡)=◡ よにする	♪ 16分休符	♪(♪♪♪♪=♪) よだけ休む
◡◡◡ 3連音符	よを3等分する		

(◡◡◡) は ♪ を 3 等分

■記号の意味

記号と読み方	意味	記号と読み方	意味
# シャープ	半音上げる	: : リピート	くりかえし。
b フラット	半音下げる	1. 2. 1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあと区へ。
♮ ナチュラル	もとの音にもどす	D.C. ダカーボ	最初からくりかえし。 Fine D.C.
— タイ	音を続ける	D.S. ダルセーニョ	記号 ♯ からくりかえし。 Fine D.S.
— スラー	なめらかに	♯ Coda コーダ	くりかえしのあと ♯ から ♯Coda へ。
◡ フェルマータ	その音をのばす		
Tacet タセット	伴奏を休む		
Fine フィーネ	おわり		

たった1台で、メロディー、リズム、ハーモニーと音楽の3要素を表現できるスグレた楽器、ピアノ。でも、この3要素を全部ひとりで演奏するのはとても大変なこと。やっぱりそれなりに「レッスン」ということになってしまいます。

そこで、登場するのが『弾き語り』。3要素のうちメロディーの部分をやれば、残りのハーモニーとリズムだけをピアノで弾けばよいのです。これでかなり難しい曲も雰囲気を出しながら、やさしく演奏することができます。ピアノ弾き語りでは、おもに右手でコード(和音)を、左手でベースを担当し、右手と左手の弾くタイミングでリズムを作るというのが基本です。

STEP 1 まずは基本をしっかりと

コードには、いろいろな種類があって“C”“G”などアルファベット1文字のものをメジャーコード、“Cm”“Gm”など小さい“m”のついたものをマイナーコード、そして“C7”“G7”などをセブンスコードとよびます。メジャーコードは明るめ、マイナーコードはちょっと寂しげ、セブンスコードはハデな印象です。ベースの基本は、“Cm”“C7”だったらC音(ド)、“Gm”“G7”だったらG音(ソ)をおさえることです(これを専門用語ではルートとか根音と呼びます)。このコードとベースの弾き方を覚えると、たいいてい曲を弾くことができます。

STEP 2 フィーリングでひと工夫

“C”“G”“Am”“F”の4つのコードは、よく使われる代表的なものです。これらをマスターすると『ダイアナ』や『涙のリクエスト』など、たくさんの曲が弾けます。

EX.1 ダイアナ

by Paul Anka

© 1957 by PAMCO music inc.
The rights for Japan assigned to
musical rights (Tokyo) K.K.
日本音楽著作権協会(出)
特許第8857059-801号

EX.2

基本形

VARI.1

VARI.2

このようにCコードなら右手は“ドミソ”左手は“ド”、Amコードなら“ドミラ”と“ラ”を全音符で弾くのが、いちばんやさしい演奏法。あとは、その曲にあわせ、4分音符で刻んだり3連符で“ザザザ”とやるなどフィーリングでリズムに演奏を(EX.2)。あわせて左手のほうも工夫しよう。ここまでできるようになれば、コードネームとメロディーだけとか歌詞だけの楽譜を見てもいろいろなバリエーションでプレイを楽しむことができます。

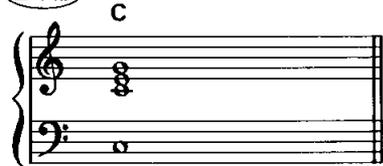
STEP 3 ちょっと高度にアルペジオ

コード演奏には、STEP 1・2でやってきたように“ジャン・ジャン・ジャン”とその和音を一度におさえる方法のほかに、アルペジオという弾き方があります。アルペジオというのは、その和音につかわれている音をバラバラにして演奏することで、分散和音ともよばれています。いま

までの弾き方ではなにか物足りないナァという時やメロウな感じの曲などで使う、ピアノ弾き語りには欠かせないテクニック。ここまでマスターすると演奏の幅がグーンと広がります。たとえば、コード演奏を下のEX.3-VAR 1・2のパターンで弾いても、また一味ちがった演奏に!

EX. 3

基本形



VAR1



VAR2



STEP 4 転回テクニックでラクラク演奏

さて、いままでは、Cコードを“ドミソ”、Amコードを“ドミラ”と覚えてきました。ところが、コードはいつもこういうふうには弾かなければイケナイというものではありません。音のつきかさねの順番をちょっと変えてCコードを“ソドミ”とか“ミソド”、Amコードを“ラドミ”“ミラド”と弾くこともできるのです。

ちょっと鍵盤をおさえてためてみましょう。“ドミソ”と“ソドミ”では響きがちがいますね。こういうふうに順番をかえる(=転回するといいます)テクニックを覚えると、雰囲気を変えられるというお楽しみメリットと同時に演奏をラクにすることができます。EX.4を見てください

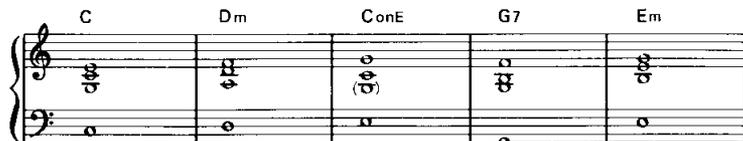
い。このようにC→Amに変えるのも指1本をとなりに動かすだけ。しっかりマスターしてバラエティーに富んだ響きの流れるような演奏をモノにしましょう。

EX. 4



●それでは、13ページの「赤いスイートピー」で弾き語りにトライ!

「赤いスイートピー」のコード(右手)とベース(左手)のおさえ方



One Point Advice

- ★イントロは譜面通りに
- ★[A][B]Cは左のようなストローク奏法が似合います。
- ★エンディングは譜面通りに。



練習曲 II

赤いスイートピー

作詞：松本 隆
作曲：呉田軽穂

Intro.

Medium Slow

C Dm ConE Dm 2 1 1 G7

mp

A

C Dm Em Am Dm G7 C

mp

はるいーろのきしゃに の っ て うみに - つれていっ てよー

C Dm Em Am Dm G7 C7

たばこーのにおいの シャ ツに そとと - よりそうか ら な ぜ し

F C Dm C7 F E7 Am G7

り あ っ た ひ か ら - は ん と し す ぎ て も あ な た - っ て て も に ぎ ら な い I will

B C Em F FonG C Em

fol - low you— あ な た に — つ い て ゆ — き た い I will fol - low you— ち ょ っ ぴ り — き

mf

F FonG

が よ わ — い け ど す て き — な — — ひ と だ か — ら —

C C Dm Em Am F FonG **ENDING** C

こ こ ろ — の き し べ に さ い た あ か い ス イ ー ト ビ —

mp

Dm ConE Dm G7 C

MIDIで 楽しみましょう。

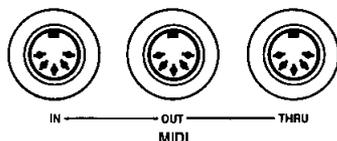
クラビノーバはMIDI機能(MIDI端子)をもった楽器です。ここでは、MIDI端子の説明やMIDI機能を使ってできること、MIDIに関する設定方法などを順に紹介します。

MIDIとは?

MIDIという言葉はミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス(Musical Instrument Digital Interface)の頭文字をとったもので、“ミディ”と読みます。MIDIは、2台以上のMIDI製品を接続して、それらの間で、演奏にまつわる様々なコントロールをさせようという目的で考え出された世界統一規格です。つまりMIDI機能は、他のMIDI規格の製品と接続して初めて使い道があるわけです。(MIDI製品には必ずMIDI端子があります。)

本機のMIDI端子

本機には、次のように3種類のMIDI端子があります。(どのMIDI製品を見ても、実はこの3種類以外にはMIDI端子はありません。)



MIDI OUT(ミディアウト)

クラビノーバでの演奏内容等が出力されます。

MIDI IN(ミディイン)

他のMIDI製品からの演奏内容等を入力できます。

MIDI THRU(ミディスルー)

クラビノーバのMIDI IN端子から入力した演奏内容等が、そのまま出力されます。(つまり、さらに別の製品にも同じ内容を送ることが可能)

★MIDI接続には、別売のMIDIケーブルが必要です。

MIDIケーブル (MIDI-15: 15m) ¥3,000
(MIDI-03: 3m) ¥1,100



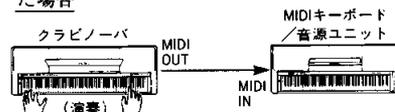
MIDIでできること

MIDIで何ができるかは、接続した機器との相性で決まります。簡単にいえば、両製品に共通したMIDI機能なら、とりあえず可能性ありということになります。MIDI製品と一口でいっても実

に様々なものがありますので、ここでは代表的なものを選んで“できること”を紹介します。接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

MIDI OUT端子を使ってできること

◆MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合



★クラビノーバで演奏すると、接続した製品もそれ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。

★クラビノーバで音色を切り替えると、接続した製品の音色も同時に切り替わります。

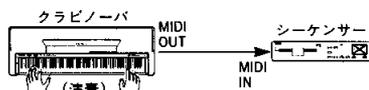
★この他に下記のように情報を出力する機能があります。相手側が情報を受けてどう対応するかは、相手側のMIDI機能によって決まります。

- ・ペダルを操作した時……ペダルを踏んだ/離したを意味する情報を出力
- ・パネルデータの送信機能を使った時(CLP-550のみ)、またはパネルデータバルクダンプリクエストを受信した時……パネル上の設定状態等を出力

※MIDIとは直接は関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション端子(OPTIONAL IN)から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。
※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって相手側のMIDIキーボードとして、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。

※後で紹介するAWM サウンドエクステンダー EMT-10、FMエクステンダーEMT-1も音源ユニットに含まれます。音源ユニットは簡単にいうとキーボードから鍵盤を除いたもの(=音源まわりを残したもの)だと思ってください。

◆MIDIシーケンサーを接続した場合



★クラビノーバでの演奏内容を、MIDIシーケンサーに記録できます。MIDIシーケンサーに演奏内容を記録すれば、後でそれを再生して自動演奏させることができます。

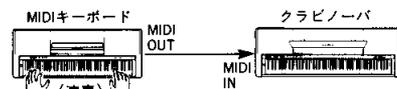
ここで1つ考えなければならぬのは、同じように演奏内容を記憶させることができる機械にテープレコーダーというものがありますが、これとは実際には大きく異なることがある、という事実です。テープレコーダーには音そのものを記憶させますが、シーケンサーの場合は音ではなく、後で音を出すことができるように音を出すためのデータを記憶させるということです。事実、シーケンサーを再

生する時には音を出す製品(MIDIキーボードや音源ユニットといわれるもの)を使わなければ音にはなりません。これからMIDIシーケンサーを使おうと思っている方は、このあたりの概念をまずはしっかりと理解してください。

★MIDIシーケンサーには、演奏内容だけでなく、音色の切替情報やイクスクルーシブ情報(後述)なども記録できます。(つまり前項の“MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合”で紹介したものは全て記録できます。)
※後で紹介するディスクレコーダー EMQ-1もMIDIシーケンサーに含まれます。

MIDI IN端子を使ってできること

◆MIDIキーボードに接続した場合



★外部のMIDIキーボードで演奏すると、クラビノーバもクラビノーバ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。

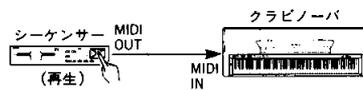
★外部のMIDIキーボードで音色を切り替えると、クラビノーバの音色も同時に切り替わります。

★この他に下記のような情報を入力してクラビノーバをコントロール可能です。

- ・ペダル効果をコントロールする情報
- ・プリアランスの選択を変える情報(CLP-550のみ)
- ・リバープの選択を変える情報(CLP-550のみ)
- ・パネルデータバルクダンプリクエスト情報

※MIDIとは直接は関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション端子(OPTIONAL IN)から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。
※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって外部のMIDIキーボードに、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。

◆MIDIシーケンサーに接続した場合

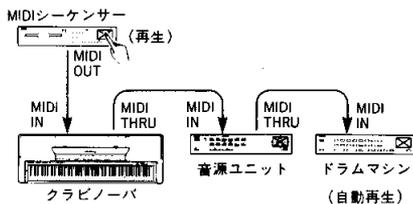


★MIDIシーケンサーに記録済みの演奏内容を、クラビノーバの音色で再生できます。

※後で紹介するディスクレコーダー EMQ-1もMIDIシーケンサーに含まれます。

MIDI THRU端子の使い方

MIDI THRU端子はシステム接続する時に便利です。MIDI THRU端子を使った接続として、たとえば次のような自動演奏システムが考えられます。



★このシステムは、シーケンサーを再生してクラビノーバと音源ユニットで鳴らし、それにリズムを加えて自動演奏化しようというものです。

※この図では、アンプやスピーカーを省略してあります。

MIDI関係の設定・機能

MIDIの機能を使う場合にもやはり設定が必要です。(設定しなくてもたまたま動くこともありますが……)

◆MIDIチャンネルの設定

MIDIの世界にも、テレビと同じようにチャンネルがあります。MIDIには1から16チャンネルまであり(テレビの場合は1から62です)、ほとんどのMIDI情報*に“この情報は〇〇チャンネルだよ”という信号が含まれています。そもそもなぜチャンネルが必要かというと、たとえばシーケンサーを再生した場合、シーケンサーのMIDI OUT端子からはいくつかのチャンネルの情報が次々に出力されます。そして1本のMIDIケーブルの中をいくつかのチャンネルの情報がいっしょに流れます。幸いにして各情報にはMIDIチャンネルが付けられていますので、受信側の製品でチャンネルを指定してやれば、必要なそのチャンネルの情報だけを選んで受け取ることができるわけです。

そして、最も一般的なMIDIキーボードとMIDIキーボードの接続の場合にも、送信側の送信チャンネルと受信側の受信チャンネルを一致させなければ、受信側で情報を受け取ることができませんので、受信側で当然音は鳴りません。

*チャンネルの信号が含まれていると都合の悪い情報には、チャンネル信号は逆に含まれていません。

送・受信チャンネルの設定方法

- ①トランスポーター/MIDIボタンを押しながら、
- ②該当する鍵盤を押します。

・送信チャンネルを

- 1に切り替える場合……………C₁
- 2に切り替える場合……………C_{#1}
- ⋮
- 16に切り替える場合……………D_{#2}

・オムニオン+受信チャンネル

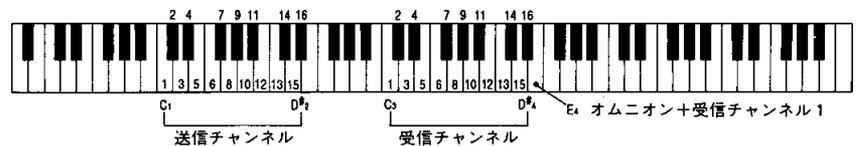
- 1に切り替える場合……………C₃
- ⋮
- 16に切り替える場合……………D_{#4}

・オムニオン+受信チャンネル

- 1に切り替える場合……………E₄

※オムニオンは、チャンネル設定に関係な

く、どのチャンネルのボイスメッセージ(鍵盤、ペダル、音色スイッチ等)でも受信する状態です。



★電源スイッチをオンにした時は、いつも送信=チャンネル1、受信=オムニオン+チャンネル1が選ばれています。

◆ローカルコントロールオン/オフの切替

ローカルコントロールオフという状態になると、クラビノーバで演奏したにもかかわらずクラビノーバ自身では鳴らなくなります。ただしMIDI OUT端子からは、オン/オフにかかわらず演奏情報が出力されます。

つまりローカルコントロールオフは、あえて外部の製品側だけで鳴らしたい場合に、クラビノーバで音が出ないようにするためのものです。

オン/オフの切替方法

- ①トランスポーター/MIDIボタンを押しながら、
- ②ピアノ1ボタンを押します。

・ローカルコントロールオフにする場合……PIANO 1のランプを点灯させる。

・ローカルコントロールオンに戻す場合……PIANO 1のランプを消灯させる。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもローカルコントロールオンが選ばれています。

◆プログラムチェンジオン/オフの切替

プログラムチェンジオフという状態になると、クラビノーバで音色を切り替えても、MIDI OUT端子へ音色の切替情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子から音色切替情報を受けてもクラビノーバの音色は切り替わりません。

つまり、クラビノーバだけで単独に音色を切り替えたい場合には、プログラムチェンジオフにしてください。

オン/オフの切替方法

- ①トランスポーター/MIDIボタンを押しながら、
- ②ピアノ2ボタンを押します。

・プログラムチェンジオフにする場合……PIANO 2のランプを点灯させる。

・プログラムチェンジオンに戻す場合……PIANO 2のランプを消灯させる。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもプログラムチェンジオンが選ばれています。

◆コントロールチェンジオン/オフの切替

コントロールチェンジオフという状態になると、クラビノーバでペダルなどを操作しても、MIDI OUT端子へそれらの情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子からそれらの情報を受けても、クラビノーバはそれに応じなくなります。

つまり、クラビノーバだけで単独にペダルを操作したい場合には、コントロールチェンジオフにしてください。

オン/オフの切替方法

- ①トランスポーター/MIDIボタンを押しながら、
- ②エレクトリックピアノボタンを押します。

・コントロールチェンジオフにする場合……E.PIANOのランプを点灯させる。

・コントロールチェンジオンに戻す場合……E.PIANOのランプを消灯させる。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもコントロールチェンジオンが選ばれています。

◆マルチティンバーモードオン/オフの切替

マルチティンバーモードオンという状態になると、チャンネル1~8のどのチャンネルの情報でも受信できるようになります。

たとえばシーケンサーに記録されている複数のチャンネルの演奏情報をクラビノーバに受信させ、それぞれの音色で同時に鳴らしたい時に、マルチティンバーモードオンにします。

オン/オフの切替方法

- ①トランスポーター/MIDIボタンを押しながら、
- ②ハーブシコードボタンを押します。

・マルチティンバーモードオンにする場合……HARPISICHORDのランプを点灯させる。

・マルチティンバーモードオフに戻す場合……HARPISICHORDのランプを消灯させる。

★クラビノーバを送信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもマルチティンバーモードオフが選ばれています。

★同時に発音できるのは16音までです。

◆スプリット & レフトローカルオフ

スプリット & レフトローカルオフという機能を使うと、「この鍵盤から低い方の音はクラビノーバでは鳴らないようにする。」という状態にできます。もちろん、鳴る音と鳴らない音の境にする鍵盤は自分で指定できます。これは、左手で弾いた音を外部の製品側で鳴らし、右手で弾いた音をクラビノーバ自身で鳴らすための機能です。この時、左手の音と右手の音は異なった音色にします。たとえば左手をブラス、右手をエレクトリックピアノのような組合せです。また、左手はうまく弾けないので右手の音だけ鳴らす、という使い道もあります。

設定方法

- ①トランスポージャー/MIDIボタンを押しながら、
- ②チェレスタ(CLP-350はバイパス)ボタンを押します。すると、そのボタンのランプが点滅しますので、そのままトランスポージャー/MIDIボタンだけは離さずに、
- ③左手の最高音の鍵盤(鳴らないようにする一番右側の鍵盤)を押します。これで設定完了です。スプリット & レフトローカルオフの状態となりました。

★左手の演奏情報はMIDIチャンネル2で送信されますので、外部の製品のMIDI受信チャンネルを2に合わせてください。

また右手の演奏情報が「MIDIチャンネルの設定」のところ指定したMIDIチャンネルで送信されます。必要なら右手の音もさらに別の製品で、クラビノーバの音といっしょに鳴らすことができます。

★MIDIシーケンサーに、左右別々のチャンネルで記録することも可能です。

★スプリット & レフトローカルオフの状態からもとの状態に戻す時は次のようにしてください。

- ①トランスポージャー/MIDIボタンを押しながら、
- ②チェレスタ(CLP-350はバイパス)ボタンを押します。そして両方のボタンを離します。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この機能は一切関係ありません。

★電源スイッチをオンにした時は、いつももとの状態に戻っています。

◆スプリット & ライトローカルオフ (CLP-550のみの機能です。)

前項のスプリット & レフトローカルオフは左手の音が出ないようにする機能でしたが、この機能は逆に右手の音が出ないようにする機能です。機能の使い道は前項と同様です。

設定方法

- ①トランスポージャー/MIDIボタンを押しながら、
- ②バイパスボタンを押します。すると、バイパスボタンのランプが点滅しますので、そのままトランスポージャー/MIDIボタンだけは離さずに、

③左手の最高音の鍵盤(鳴るようにする一番右側の鍵盤)を押します。

これで設定完了です。スプリット & ライトローカルオフの状態となりました。

★左手の演奏情報はMIDIチャンネル2で送信され、右手の演奏情報は「MIDIチャンネルの設定」のところ指定したMIDIチャンネルで送信されます。外部のMIDI製品の受信チャンネルは、クラビノーバの送信チャンネルに合わせてください。

★スプリット & ライトローカルオフの状態からもとの状態に戻す時は次のようにしてください。

- ①トランスポージャー/MIDIボタンを押しながら、
- ②バイパスボタンを押します。そして両方のボタンを離します。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この機能は一切関係ありません。

★電源スイッチをオンにした時は、いつももとの状態に戻っています。

◆パネルデータの送信(CLP-550のみの機能です。)

パネル上の設定状態をシーケンサーに記録したり、別のCLP-550のパネル上の設定をクラビノーバに合わせることができます。

シーケンサーに演奏情報を記録する前にパネル情報を記録しておけば、後でシーケンサーを再生した時、自動的にクラビノーバの状態が記録した時の状態に切り替わります。(パネルスイッチは動きません。)

※送信される情報は、選択されている音色、プリリアンスの選択、リバープの選択の3種類です。

送信方法

- ①トランスポージャー/MIDIボタンを押しながら、
- ②ギターボタンを押します。すると、すぐに送信されます。

MIDIデータフォーマット

MIDIデータフォーマットを読む方はご覧ください。CLP-550/CLP-350のMIDI仕様を素早く調べたり、細かく知るうえで役立つことがあります。

1. 送信データ

1-1. チャンネルインフォメーション

◆チャンネルボイスメッセージ

①ノートオン/オフ：鍵盤を押した時に送信します。

ステータス	1 0 0 1 n n n n (9nH)	n = 0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo	0 k k k k k k k k	k = 21(A ₁)~108(C ₇)
ベロシティ	0 v v v v v v v v	v = 0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)

②コントロールチェンジ：各ペダル操作をした時に送信します。

ステータス	1 0 1 1 n n n n (8nH)	n = 0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo	0 c c c c c c c c	c = 64(ダンパー), 66(ソステヌート), 67(ソフト)
コントロール値	0 v v v v v v v v	v = 0(オフ), 127(オン)

③プログラムチェンジ：音色を切り替えた時に送信します。

ステータス	1 1 0 0 n n n n (CnH)	n = 0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
プログラムNo	0 p p p p p p p p	p = 0(PIANO 1), 1(PIANO 2), 2(E.PIANO), 3(HARPSICHORD), 4(CLP-550; CELESTA, CLP-350; VIBES), 5(CLP-550; VIBES), 6(CLP-550; GUITAR)

1-2. システムインフォメーション

◆システムリアルタイムメッセージ

①アクティブセンシング：約200msecごとに1回送信します。

ステータス	1 1 1 1 1 1 1 0 (FEH)
-------	-----------------------

◆システムイクスクルーシブメッセージ

①パネルデータバルクダンブ：

パネルデータの送信機能を働かせた時と、パネルデータバルクダンブリクエストを受信した時に送信します。

ステータス	1 1 1 1 0 0 0 0 (FOH)	
ID No	0 1 0 0 0 0 1 1 (43H)	
サブステータス	0 0 0 n n n n (0nH)	n = 0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo	0 1 1 1 1 1 0 0 (7CH)	
バイトカウント	0 0 0 0 0 0 0 0 (00H)	

仕様

④マルチティンバーモードオフ：

このメッセージを受信すると、マルチティンバーモードオフになります。

ステータス	1 1 1 1 0 0 0 0 (FOH)
YAMAHA ID No.	0 1 0 0 0 0 1 1 (43H)
SKID	0 1 1 1 0 0 1 1 (73H)
機種ID	0 f f f f f f f f f f =1(共通ID), 24(CLP-350), 25(CLP-550), 27(クラビノーバ共通ID)
データ	0 0 0 1 0 0 1 1 (13H)
EOX	1 1 1 1 0 1 1 1 (F7H)

⑤マルチティンバーモードオン：

このメッセージを受信すると、マルチティンバーモードオンになります。

ステータス	1 1 1 1 0 0 0 0 (FOH)
YAMAHA ID No.	0 1 0 0 0 0 1 1 (43H)
SKID	0 1 1 1 0 0 1 1 (73H)
機種ID	0 f f f f f f f f f f =1(共通ID), 24(CLP-350), 25(CLP-550), 27(クラビノーバ共通ID)
データ	0 0 0 1 0 1 0 1 (15H)
EOX	1 1 1 1 0 1 1 1 (F7H)

⑥ブリリアンス：

CLP-550の場合、このメッセージを受信すると、ブリリアンスの設定が変わります。

ステータス	1 1 1 1 0 0 0 0 (FOH)
YAMAHA ID No.	0 1 0 0 0 0 1 1 (43H)
SKID	0 1 1 1 0 0 1 1 (73H)
機種ID	0 0 0 1 1 0 0 1 (19H)
特殊操作子	0 0 0 1 0 0 0 1 (11H)
チャンネル	0 0 0 0 n n n n (0nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo.	0 1 0 1 1 0 0 0 (58H)
コントロール値	0 v v v v v v v v v v =0(NORMAL), 1(MELLOW), 2(BRIGHT)
EOX	1 1 1 1 0 1 1 1 (F7H)

⑦リバーブ：

CLP-550の場合、このメッセージを受信すると、リバーブの設定が変わります。

ステータス	1 1 1 1 0 0 0 0 (FOH)
YAMAHA ID No.	0 1 0 0 0 0 1 1 (43H)
SKID	0 1 1 1 0 0 1 1 (73H)
機種ID	0 0 0 1 1 0 0 1 (19H)
特殊操作子	0 0 0 1 0 0 0 1 (11H)
チャンネル	0 0 0 0 n n n n (0nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo.	0 1 0 1 1 0 0 1 (59H)
コントロール値	0 v v v v v v v v v v =0(OFF), 1(PEDAL), 2(ROOM), 3(HALL), 4(COSMIC)
EOX	1 1 1 1 0 1 1 1 (F7H)

⑧受信チャンネルの切替：

このメッセージを受信すると、受信チャンネルの設定が変わり、オムニオフになります。

ステータス	1 1 1 1 0 0 0 0 (FOH)
YAMAHA ID No.	0 1 0 0 0 0 1 1 (43H)
SKID	0 1 1 1 0 0 1 1 (73H)
機種ID	0 f f f f f f f f f f =1(共通ID), 24(CLP-350), 25(CLP-550), 27(クラビノーバ共通ID)
サブステータス	0 1 1 1 n n n n (7nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
EOX	1 1 1 1 0 1 1 1 (F7H)

CLP-550

- 鍵盤：88鍵(A₁~C₇)イニシャルタッチ付
- 音色：ピアノ1、ピアノ2、エレクトリックピアノ、ハーブシコード、チェレスタ、バイブス、ギター
- 効果・効能：ブリリアンス、リバーブ、トランスポージャー、ピッチコントロール
- コントロール：電源スイッチ、ボリューム、ソフト/ソステヌートペダル、ダンパーペダル
- 付属端子：ヘッドホン端子、オプション端子(IN L, IN R, OUT L, OUT R)、AUX出力端子(OUT L, OUT R)、MIDI端子(IN, OUT, THRU)
- メインアンプ40W(20W×2)
- スピーカー：13cm×2、5cm×2
- 定格電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：60W
- 外装：仕上げ…ブラック/ブラックローズウッド調仕上げ、間口…141.8cm 奥行…46.7cm 高さ…80.4cm 重量…52kg
- 装備：スライド鍵盤蓋、折りたたみ式譜面立て

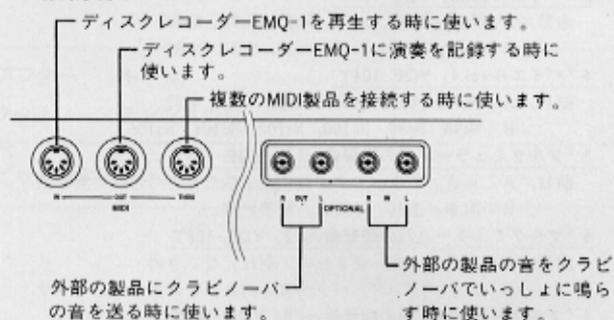
CLP-350

- 鍵盤：88鍵(A₁~C₇)イニシャルタッチ付
- 音色：ピアノ1、ピアノ2、エレクトリックピアノ、ハーブシコード、バイブス
- 効果・機能：トランスポージャー、ピッチコントロール、サスティン
- コントロール：電源スイッチ、ボリューム、ソフト/ソステヌートペダル、ダンパーペダル
- 付属端子：ヘッドホン端子、オプション端子(IN L, IN R, OUT L, OUT R)、MIDI端子(IN, OUT, THRU)
- メインアンプ：20W(10W×2)
- スピーカー：16cm×2
- 定格電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：30W
- 外装：仕上げ…ブラック/ブラックローズウッド調仕上げ、間口…141.8cm 奥行…46.7cm 高さ…80.4cm 重量…43kg
- 装備：折りたたみ式譜面立て
- 付属品：トップカバー

EMシリーズで さらに楽しさを広げましょう。

ヤマハではクラビノーバ／ポータートーン用拡張機器として、EMシリーズといういろいろなオプション(別売)製品を用意しています。そしてこれらの製品をクラビノーバと組み合わせると、クラビノーバの楽しさや音楽表現の幅がさらに広がるようになっています。ここでは、各組合せによって可能になる楽しみかたを紹介します。

◆EMシリーズの製品を接続する時に使うクラビノーバの接続端子



◆ディスクレコーダーEMQ-1との組合せ

EMQ-1は自分の演奏を記録するものです。記録した曲は後で自由に再生でき、自分の演奏をじっくり聴くことができますので、演奏の良いところと悪いところがしっかりとわかります。また「バイエル」や「ブルグミュラー」などのピアノ基本教材の模範演奏や、プロの演奏による「ピアノ名曲コレクション」など、様々な再生用ソフトもセットでき、ご家庭での音楽の楽しみかたがいっそうふくらみます。

・ディスクレコーダーEMQ-1



接続 (記録時)



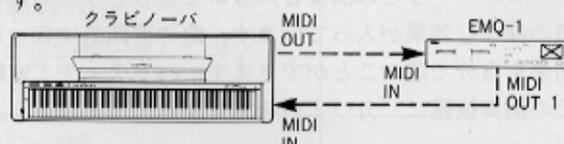
自分の演奏を記録する時の接続方法です。左手の演奏を記録してから、次に右手の演奏を記録するなど、いくつかのパートを順番に重ねて記録することもできます。

接続 (再生時)



再生する時の接続方法です。重ねて記録した曲や再生用ソフトをセットした時の接続方法も、もちろん同じです。

★記録時の接続と再生時の接続を両方しておくとも便利です。



★EMQ-1だけでなく練習用ソフトもあわせて使用した場合は、右手または左手パートの音だけ自動演奏させることが可能になります。そしてそれに合わせて、もう一方のパートの練習ができます。その場合のクラビノーバ側の設定方法は次のとおりです。

右手パートを自動演奏させ、左手パートの練習をする場合

- ①トランスポーザー／MIDIボタンを押しながら、
- ②A-1の鍵盤を押します。するとオムニオフ+受信チャンネル1になり、設定完了です。

左手パートを自動演奏させ、右手パートの練習をする場合

- ①トランスポーザー／MIDIボタンを押しながら、
- ②B-1の鍵盤を押します。するとオムニオフ+受信チャンネル2になり、設定完了です。

元の状態に戻す場合

- ①トランスポーザー／MIDIボタンを押しながら、
- ②A-1とB-1の鍵盤を同時に押します。するとオムニオン+受信チャンネル1になり、元の状態に戻ります。

◆デジタルドラマーEMR-1との組合せ

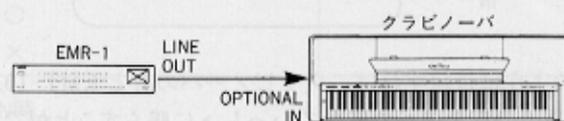
EMR-1にはディスコやマーチ、ワルツなど32種類もリズムが入っていますので、自分で演奏する曲に合ったリズムを選ぶことができます。そしてリズムの音は37種類の楽器の中で構成されていますので、とても本物に近い、迫力のある音がします。

なお、リズムの順番を決めたり、テンポを変えたり、装飾音を入れたりして、曲の流れにあったリズムにすることができます。

・デジタルドラマーEMR-1



接続



リズムの音をクラビノーバでいっしょに鳴らすときの接続方法です。リズムに合わせて演奏すれば、楽しみながら演奏するうちに、リズム感が養われ、曲の速さを正確に保つことができますようになります。

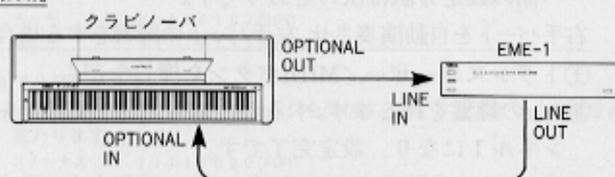
◆デジタルリバーブEME-1との組合せ

クラビノーバなどの演奏音に豊かな響きを与える12種類の様々な効果が入っています。曲の雰囲気に合った効果を自分で選ぶことができます。パーティやご家庭での演奏披露に、カブよい味方となることでしょう。

・デジタルリバーブEME-1



接続



このように接続すればクラビノーバの音に効果がかかります。

◆サウンドエクスパンダーEMT-10、またはEMT-1との組合せ

EMT-10にはAWM音源の楽器音が12種類、EMT-1にはFM音源の楽器音が32種類入っています。どちらも本物にとっても近い音です。

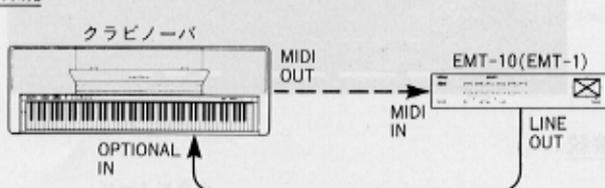
・AWMサウンドエクスパンダーEMT-10



・FMサウンドエクスパンダーEMT-1



接続



このように接続すれば、クラビノーバの音とEMT-10/EMT-1の音を違った音色でいっしょに鳴らすことができますから、音に厚みができます。右手の音はクラビノーバの中の音色で鳴らし、左手の音はEMT-10/EMT-1の中の音色で鳴らすということもできます。

ヤマハディスクレコーダー(EMQ-1)専用クラビノーバ・ライブラリー・シリーズのご紹介 各¥2,500

クラビノーバ・ライブラリー・シリーズはディスク・レコーダー(EMQ-1)とクラビノーバのための曲データソフトです。鑑賞用に、学習用に幅広くご利用いただけます。

エデュケーションル

エデュケーションル・シリーズは、左手パートと右手パートを独立して再生できますので、学習用に最適です。

1 「バイエルvol.1」 YQE-101T

曲目/A: No.8, No.16, No.18, No.19, No.21, No.23, No.24
B: No.29, No.35, No.37, No.41, No.44

2 「バイエルvol.2」 YQE-102T

曲目/A: No.46, No.47, No.48, No.49, No.51, No.52
B: No.53, No.54, No.55, No.57, No.58, No.60

3 「バイエルvol.3」 YQE-103T

曲目/A: No.62, No.66, No.72, No.73, No.74, No.76
B: No.77, No.78, No.79, No.80, No.81, No.82

4 「バイエルvol.4」 YQE-104T

曲目/A: No.88, No.89, No.91, No.92, No.93, No.97
B: No.98, No.99, No.100, No.102, No.104, No.106

5 「ブルグミュラー/25の練習曲vol.1」 YQE-105T

曲目/A: 正直/アラベスク/牧歌/子供たちのつどい/無邪気
B: 前進/きれいな流れ/優美/狩

6 「ブルグミュラー/25の練習曲vol.2」 YQE-106T

曲目/A: やさしい花/せきれい/別れ/なくさめ
B: スティリアンヌ/バラード/あまいなげき/おしゃべり

7 「ブルグミュラー/25の練習曲vol.3」 YQE-107T

曲目/A: 不安/アヴェ・マリア/タランテラ/天使の声
B: 舟歌/家路/つばめ/貴婦人の乗馬

ピアノ名曲コレクション

1 「エリーゼのために」 YQP-101

曲目/A: エリーゼのために/バッハのメヌエット/すみれ
B: 楽しい農夫/ト長のメヌエット/ばらに寄せて

2 「乙女の祈り」 YQP-102

曲目/A: 乙女の祈り/トロイメライ/春の歌
B: 人形の夢と目覚め/花の歌/ガボット

3 「小犬のワルツ」 YQP-103

曲目/A: 小犬のワルツ/紡ぎ歌/楽興の時
B: キラキラ星変奏曲/インベンション1番

4 「月の光」 YQP-104

曲目/A: 月の光/アラベスク
B: 夢/ゴリウォークのケークウォーク/小さな黒人

スクリーン・ミュージック

1 「ひまわり」 YQS-101

曲目/A: ひまわり/いそしぎ/追憶
B: 雨にぬれても/シェラブールの雨傘/愛はきらめきの中に

2 「ムーン・リバー」 YQS-102

曲目/A: ムーン・リバー/シャレード/スティンク
B: 太陽がいっぱい/ある愛の詩/星に願いを

コンテンポラリー・ポップス

1 「セイ・ユー・セイ・ミー」 YQC-101

曲目/A: セイ・ユー・セイ・ミー/ユア・ソング/小さな願い
B: やさしく歌って/愛のプレリュード/サウンド・オブ・サイレンス

スタンダード・ジャズ

1 「マイ・ファニー・バレンタイン」 YQJ-101

曲目/A: マイ・ファニー・バレンタイン/二人でお茶を/セブテンパー・ソング
B: 9月の雨/ナイト・アンド・デイ/CANDY

★各シリーズ共、続々と他のソフトが登場します。ご期待ください。

CLP-550/CLP-350

MIDIインプリメンテーションチャート

Date:1988. 6. 16
Version:1.0

ファンクション…	送	信	受	信	備	考
ベーシック 電源ON時 チャンネル 設定可能	1チャンネル 1~16チャンネル		1チャンネル 1~16チャンネル			
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード 3 × *****		モード 1 オムニ・オン、オムニ・オフ ×			
ノート ナンバー 音 域	21~108 *****		21~108 21~108			
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH、V=1~127 × 9nH、V=0		○ V=1~127 ×			
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×		× ×			
ピッチ・ベンダー	×		×			
コントロール チェンジ	07 × 64 ○ 66 ○ 67 ○		○ ○ ○ ○	※1	ボリュームペダル ダンパーペダル ソステヌートペダル ソフトペダル	
プログラム チェンジ 設定可能範囲	0~6 ※2 *****		0~6 ※2 0~6 ※2			
エクスクルーシブ	○		○			
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チェーン	× × ×		× × ×			
リアル クロック タイム コマンド	× ×		× ×			
その他 ローカル ON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×		○ ○ (123~125) ○ ×			
備 考	※1 マルチ・ティンバーモードON時 ※2 CLP-350の場合=0~4					

モード 1:オムニ・オン, ポリ モード 2:オムニ・オン, モノ ○:あり
モード 3:オムニ・オフ, ポリ モード 4:オムニ・オフ, モノ ×:なし

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

●本機の保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

●保証期間の1ヵ年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしなさいですみます。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

【修理受付および修理品お預り窓口】

北海道電音サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL.011-513-5036
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236-0249
東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区本木1184 TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL.025-243-4321
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ機密竹工場内 TEL.0534-65-6711
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ機密名古屋流通センター TEL.052-652-2230
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL.06-877-5262
京都電音サービスステーション	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル3F TEL.075-361-6470
神戸電音サービスステーション	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ機密神戸店内 TEL.078-321-1195
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ機密高松店内 TEL.0878-22-3045
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.082-874-3787
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
(本社) 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534-65-1158

*住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
ヤマハ株式会社

本社
楽器営業本部
電子楽器営業部
クラビノーバ営業課

〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.0534(60)3275

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4 ヤマハセンター
TEL.011(512)6114

仙台支店 / 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル
TEL.022(222)6141

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル
TEL.03(572)3140

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL.052(201)5140

大阪支店 / 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館
TEL.06(252)7541

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL.082(244)3748

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL.092(472)2152

YAMAHA feelin' club



T4960693006405